

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成 28 年 4 月 日

計画の名称	1 二宮町都市公園交流・文化拠点安全安心な公園の再生		
計画の期間	平成22年度～平成26年度（5年間）	交付対象	二宮町
計画の目標			

二宮町交流・文化拠点には、市街地内のまとまりある緑被地がある。この緑被地を保全しつつ自然的環境を十分に活用したレクリエーション利用が図れる都市公園（風致公園）整備を行う。また同拠点内には、菜の花の早咲きで知られる吾妻山公園（都市公園）があり、毎年早春の時期は観光客で大変な賑わいを見せている。この公園は開園から20年以上経っており施設の老朽化が著しいため再整備し利用者の安全を図ると共に、同じく施設老朽化しているせせらぎ公園の改修を行い、安全安心な公園を再生する。公園利用者における安全を図ることにより利用者数増加を目標とする。また、まとまりのある緑被地においては既存都市公園と違う視点、時期等で新たな公園の魅力を生み出し、年間を通じた観光の拠点とすることにより地域の活性化を図る。拠点内における都市公園について公園施設長寿命化計画を策定する。

計画の成果目標（定量的指標）

- ・利用者の多い都市公園における来園者数を374,000人から395,000人に増加
- ・町内都市公園における長寿命化計画策定公園数を0箇所から1箇所に増加
- ・二宮町の住民一人当たり公園面積を、5.96㎡/人（H22）から7.76㎡/人（H26）に増加

定量的指標の定義及び算定式

定量的指標の現況値及び目標値

①	定量的指標の定義及び算定式	当初現況値	中間目標値	最終目標値	備考						
		(H22当初)	(H24末)	(H26末)							
①	吾妻山公園とせせらぎ公園の来園者数を計測する。	374,000人		395,000人							
②	二宮町内都市公園における長寿命化計画策定公園数を計測する。	0箇所		1箇所							
③	人口及び公園面積を計測する。	5.96㎡/人 (29,850人) (17.8ha)		7.76㎡/人 (30,000人) (23.3ha)							
全体事業費		合計 (A+B+C)	2234百万円	A	2234百万円	B	0万円	C	0万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
二宮町都市整備課にて評価を実施	平成28年度（事業終了後）
	公表の方法
	二宮町ホームページに掲載

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

A1 基幹事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
1-A1-1	公園	一般	二宮町	直接	二宮町	都市公園事業（二宮風致公園）	園路、造成等 5.5ha	二宮町						2,020	
1-A1-2	公園	一般	二宮町	直接	二宮町	二宮町都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業	園路、トイレ等施設更新・バリアフリー化 2箇所	二宮町						211	
1-A1-3	公園	一般	二宮町	直接	二宮町	二宮町都市公園施設長寿命化計画策定調査	16箇所	二宮町						3	
合計													2,234		

B 関連社会資本整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
合計															

番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考				
C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
合計															
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考				

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> ・風致公園の整備が完了した結果、5.5haの公園を供用することができ、住民一人当たりの公園面積が増加した。また、緑被地の保全を確保することができた。 ・トイレなどの設備をバリアフリー化したことで、来園者がより安心して利用することができる公園施設が増加した。 ・公園施設の長寿命化計画を策定したことにより、各施設の安全性を把握し、ライフサイクルコストの縮減に繋がる補修・改修の公園施設が明確となり、計画的な維持管理を実施することが可能になった。 									
II 定量的指標の達成状況	指標①（利用者の多い都市公園における来園者数を374千人から395千人に増加）	最終目標値	395千人	目標値と実績値に差が出た要因	H23～25に吾妻山公園の再整備工事を行ったことにより来園者数が減少し、その後の回復がゆるやかだったため。						
		最終実績値	346千人								
	指標②（町内都市公園における長寿命化計画策定公園数を0箇所から1箇所に増加）	最終目標値	1箇所	目標値と実績値に差が出た要因	当初は来園者数の多い吾妻山公園の1箇所を予定していたが、ライフサイクルコスト縮減を考慮し、町内16箇所の都市公園全てについて計画を策定することが望ましいと判断したため。						
		最終実績値	16箇所								
	指標③（住民一人当たりの公園面積を5.96㎡/人(H22)から7.76㎡/人(H26)に増加）	最終目標値	7.76㎡/人	目標値と実績値に差が出た要因	【計算式】 23.3ha÷28,767人=8.10㎡/人 ※H26末の二宮町人口28,767人で計算したため。						
		最終実績値	8.10㎡/人								
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)											
3. 特記事項（今後の方針等）											
<p>指標①吾妻山公園、せせらぎ公園の工事最終年度である平成25年度の利用者数は247千人であり、工事完了後の平成26年度には346千人に回復していることから、今後の見通しとして平成29年度には395千人に達する見込みである。</p> <p>指標②今後は、長寿命化計画の見直しを適宜行いながら、長寿命化計画に沿った公園施設の種類に応じた日常点検・定期点検を行い、公園利用者の安全と利便性を確保するよう適切な維持管理に努めると共に、予算執行の平準化を図りながら計画的な補修・改修及び更新を実施し、施設の延命化によるライフサイクルコストの縮減に努める。</p>											

社会資本総合整備計画（図面）

計画の名称	1 二宮町交流・文化拠点安全安心な公園の再生	交付対象	二宮町
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度（5年間）		

